

平成 27 年度 第 2 回 水工学委員会および幹事会 議事録

日 時：平成 28 年 3 月 14 日（月）18:00～20:00

場 所：東北工業大学八木山キャンパス 9 号館 936 教室
（仙台市太白区八木山香澄町 35-1）

出席者：朝位孝二、浅沼順、石平博、泉典洋、今村正裕、入江政安、岩見洋一、大石哲、大槻英樹、風間聡、川口智哉、川越清樹、河原能久、河村明、神田学、駒井克昭、小松利光、里深好文、清水康行、清水義彦、杉原裕司、角哲也、関根正人、竹林洋史、立川康人、田中規夫、戸田祐嗣、富永晃宏、中北英一（委員長）、中津川誠、中山恵介（幹事長）、二瓶泰雄、藤田一郎、堀田哲夫、堀智晴、宮本仁志、矢島啓、矢野真一郎、横山勝英（50 音順、敬称略）

《報告事項》

1. 本年度の水工学委員会 （資料 1）
2. 各部会、小委員会、関連委員会の活動報告及び活動計画 （資料 2）
 - 部会：水文部会、基礎水理部会、環境水理部会、河川部会
 - 常置小委員会：地球環境水理学、東南アジア河川、ISO/TC113、流量観測高度化、水害対策
 - 出版関連：水理公式集編集小委員会、水理実験指導書編集小委員会、論文編集委員会
 - 関連委員会：海岸、沿環連、地球環境、環境システム、流域管理と地域計画の連携、河川懇談会、CommonMP
部会長、小委員長および関連委員から各部会、各小委員会、関連委員会の活動報告と今年度予定に関する報告があった。詳細は資料の通りである。
3. 水理公式集編集小委員会報告 （資料 3）

清水（義）委員から進捗状況に関する報告があった。
4. 平成 28 年度第 21 回水シンポジウム（山口）について（山口県総合保健会館多目的ホール、H2 8.8.25-26） （資料 4）

委員長からプログラム案が紹介され、準備状況が説明された。
5. 平成 28 年度第 52 回水工学に関する夏期研修会について（秋田大学、H27.8.22-23） （資料 5）

風間委員から準備状況が説明された。
6. 平成 28 年度第 61 回水工学講演会について（九州大学、H29.3.15-17） （資料 6）

矢野委員から会場等に関する情報が紹介された。
7. ICWRER2016 について （資料 7）

堀委員から準備状況等が紹介された。

8. 平成 28 年度全国大会 共通セッションについて (資料 8)
中北委員長から他委員会も含めて水工学委員会から提案している共通セッションへの投稿に関するお願いと共通セッションの紹介が行われた。

9. その他
なし。

《協議事項》

1. 平成 29 年度第 22 回水シンポジウムについて (協議資料 1)
中北委員長から山口の後は沖縄で開催する旨が紹介され、了承を得た。
2. 平成 29 年度第 53 回水工学に関する夏期研修会について (協議資料 2)
中北委員長から平成 29 年度は海岸工学委員会が主担当であることが説明された。開催場所については、海岸工学委員会に委ねることが了承された。
3. 平成 29 年度第 62 回水工学講演会について (協議資料 3)
中国地方での開催可能性を検討することが承認された。
4. 平成 28 年度全国大会 研究討論会について (協議資料 4)
水工学委員会から 2 件提案することが承認された。優先順位は、「気候変動への適応研究推進に向けて!」、「水工情報システムの発展」で与えられた。
5. 土木学会論文集 B 分冊合同編集小委員会の次期委員推薦について (協議資料 5)
各部会からの推薦委員が承認された。
6. 国土交通省のレーダ雨量計設置 50 周年事業について (協議資料 6)
水工学委員会として出来る限りサポートすることが了承された。
7. 気候変動による影響への適応小委員会について (協議資料 7)
中北委員長から、グローバル気候変動適応研究推進小委員会の設置の提案が行われ承認された。小委員長は矢野委員、幹事長は神戸大学の小林健一郎准教授であることも承認された。
8. H27 年度 水工学論文集編集小委員会の取り組みと今後の課題について (協議資料 8)
戸田委員から今回の水工学講演会の取組が紹介され、水災害等に関する査読分野・編集委員の追加、国際セッション優秀論文賞の名称変更 (Best International Paper Award)、BIB ファイル作成の業者委託、水工学論文賞内規の修正が承認された。今後、より講演会を活性化するために改革を継続することが承認された。

9. その他

堀田委員から、ISO/TC113 の取りまとめのための印刷費用を水工学委員会の予算から拠出することが協議事項として示され、承認された。